

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年11月14日

【四半期会計期間】 第43期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 日立機材株式会社

【英訳名】 Hitachi Metals Techno, Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 笠原伸泰

【本店の所在の場所】 東京都江東区東陽二丁目4番2号

【電話番号】 03(3615)5411

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理グループ部長 堀正寛

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区東陽二丁目4番2号

【電話番号】 03(3615)5411

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理グループ部長 堀正寛

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第2四半期 連結累計期間	第43期 第2四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	13,489,270	12,254,468	26,706,774
経常利益 (千円)	1,311,783	1,391,651	2,682,411
四半期(当期)純利益 (千円)	820,875	852,038	1,613,208
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	923,574	965,912	1,928,634
純資産額 (千円)	16,567,221	18,171,276	17,407,002
総資産額 (千円)	23,431,121	24,896,014	24,439,123
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	44.84	46.55	88.13
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	70.7	73.0	71.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,217,909	613,029	1,784,015
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	217,786	112,824	700,227
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	318,319	201,638	553,857
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	7,203,265	7,369,074	7,054,402

回次	第42期 第2四半期 連結会計期間	第43期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.47	22.51

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

本文中における将来に関する事項につきましては、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減に見舞われたものの、民間設備投資が持ち直して公共投資も堅調に推移するなど、景気は内需を中心として緩やかな回復傾向が続きました。

当社グループ関連の建設・機械設備市況は、企業業績の改善に伴って設備投資が回復基調を示した一方、建設分野においては当四半期後半にかけて消費増税反動減の影響が一部に表れたため、総じて需要は伸び悩む状況が続きました。

このような状況のもと当社グループの市況は、構造システム事業が、消費増税後の踊り場で鉄骨造建設需要が伸びない中、高付加価値新商品の市場投入による拡販効果が表われましたが、売上高は前年同四半期連結累計期間（以下「前年同四半期」）対比では減少しました。これは、前年同四半期において工事進行基準の適用範囲拡大や消費増税前の駆け込み需要発生による一時的な増加があったことが大きく影響しております。一方、マテハンシステム事業において海外事業や本邦からの輸出が続伸したものの構造システム事業での減少を補完できず、全体として売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

利益面では、構造システム事業での売上高減少が大きく影響したものの、内装システム・マテハンシステム両事業が国内品の採算性向上や海外事業での高収益の確保によって大幅に改善したため、前年同四半期を上回りました。

その結果、売上高12,254百万円(前年同四半期比91%)、経常利益1,391百万円(同106%)、四半期純利益852百万円(同104%)となりました。

セグメント別の売上高の概況は次のとおりです。

内装システム

オフィス用フロアは、大型案件を主に採算性重視で受注を精選したことや新商品発売移行の過渡期を迎えたことにより減少を余儀無くされました。一方、低迷の続いたクリーンルーム用フロアで海外向けの大型物件を納入したものの、電算室用フロアが大型データセンター向けを中心に需要の端境期に陥ったことにより、全体としては前年同四半期を下回る結果となりました。

その結果、売上高2,435百万円(前年同四半期比89%)、営業利益85百万円(同129百万円の増加)となりました。

構造システム

鉄骨柱脚工法は、物流倉庫・大型商業施設・工場向けなど堅調に推移しました。また、鉄骨梁貫通孔補強工法については首都圏の高層ビル建設需要が向上したことで大幅に増加し、油圧制震ダンパについても堅調な地震対策需要のもとで大きく伸長しました。さらに、屋上システム事業も太陽光発電関連で増加しました。しかし、前年同四半期との対比では、前述のとおり、工事進行基準の適用範囲拡大による一時的な影響がなくなったことにより減少しました。

その結果、売上高6,047百万円(前年同四半期比82%)、営業利益1,033百万円(同73%)となりました。

マテハンシステム

国内においては水処理用チェンが低調だったものの、一般産業機械用チェンや伝動用ローラーチェンが堅調に推移したため、売上高は前年同四半期をやや上回りました。一方、海外事業については、北米事業が堅調な民間向けとともに公共関連も大型物件確保で好調に推移し、本邦よりの輸出も環境関連向けを中心に増加したことにより、全体では前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

その結果、売上高3,771百万円(前年同四半期比113%)、営業利益254百万円(同310百万円の増加)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて314百万円増加し、7,369百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間(以下「当第2四半期」という)における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期の税金等調整前四半期純利益は前年同四半期に比べて79百万円増加して1,391百万円となりました。また、減価償却費は前年同四半期に比べて37百万円減少し156百万円となりました。たな卸資産の減少額は前年同四半期に比べて1,044百万円減少し2百万円となりました。一方、売上債権の増加額は前年同四半期に比べて1,213百万円減少し147百万円となりました。法人税等の支払額は前年同四半期に比べて671百万円増加して774百万円となりました。これらの結果、当第2四半期における営業活動によるキャッシュ・フローの収入は、前年同四半期と比べて604百万円減少の613百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が、前年同四半期に比べて128百万円減少し、75百万円となりました。無形固定資産の取得による支出は、前年同四半期に比べて2百万円増加し、20百万円となりました。これらの結果、当第2四半期における投資活動によるキャッシュ・フローの支出は、前年同四半期と比べて104百万円減少し112百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増減額は、前連結会計年度において短期借入金を全額返済していることにより、当第2四半期に増減はありません(前年同四半期は返済による支出153百万円)。配当金の支払額は、前年同四半期の164百万円に対して201百万円となりました。これらの結果、当第2四半期における財務活動によるキャッシュ・フローの支出は、前年同四半期に比べて116百万円減少の201百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

会社の財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針

当社は、「きらりと光る会社」を創り上げることを標榜し、独創性に富んだ特色ある商品を生み出すことにより、「ダイナミズムあふれる高収益会社」を目指しております。

会社創設以来、建設・産業機械関連の材料・機器分野で、ニッチ分野での差別化を志向しながら商品・サービスの開発力と営業力の強化に努め、環境・安全にも配慮した商品の開発を鋭意追及し続けております。これを推進するため、日立金属株式会社を直接の親会社とし、同社を含む日立グループの一員として、同グループとの関係において事業運営及び取引では自律性を維持しつつ、研究開発協力等を通じて同グループ各社と緊密な協力関係を保ち、その経営資源を有効に活用することで、高品質の製品及びサービスの提供を図ることとしております。

また、当社は上場会社として、常に株主、投資家及び株式市場からの期待及び評価を認識し、情報の適時かつ適切な開示に務めるとともに、持続的成長の実現に資する経営計画の策定、企業統治の強化等を通じて、合理的で緊張感のある経営を確保することが重要であると認識しております。

これらにより、当社は、企業価値の向上及び親会社のみならず広く株主全般に提供される価値の最大化を図ってまいります。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は163百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,399,566	18,399,566	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株でありま ず。
計	18,399,566	18,399,566		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日		18,399,566		3,635,988		909,000

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日立金属株式会社	東京都港区芝浦1丁目2番1号	11,863	64.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,384	7.5
BNP-PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	33 RUE DE GASPERICH, L-5 826 HOWALD-HESPERANGE, LUXEMBOURG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	305	1.7
日立機材共栄会	東京都江東区東陽2丁目4番2号	180	1.0
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	138	0.7
恩田達夫	福岡県糟屋郡	136	0.7
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASH PB) (常任代理人 野村證券株式会社)	1 ANGEL LANE, LONDON, EC 4R 3AB, UNITED KINGDOM (東京都中央区日本橋1丁目9-1)	120	0.7
日立機材従業員持株会	東京都江東区東陽2丁目4番2号	107	0.6
白倉伸也	東京都目黒区	73	0.4
武田良夫	東京都品川区	73	0.4
計		14,379	78.2

(注) 1 日立機材共栄会は、当社取引先持株会であります。

2 上記所有株式数のうち、当第2四半期会計期間末現在において、当社として把握している信託業務に係る株式数は次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 1,338千株

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 135千株

3 上記のほか当社所有の自己株式95千株(0.5%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 95,400		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,274,400	182,744	同上
単元未満株式	普通株式 29,766		同上
発行済株式総数	18,399,566		
総株主の議決権		182,744	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式40株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日立機材株式会社	東京都江東区東陽 二丁目4番2号	95,400		95,400	0.5
計		95,400		95,400	0.5

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,457	406,840
受取手形及び売掛金	7,674,817	7,847,691
商品及び製品	882,350	1,022,563
仕掛品	1,436,812	1,340,968
未成工事支出金	58,445	109,410
原材料及び貯蔵品	389,912	352,922
関係会社短期貸付金	6,818,565	6,798,058
その他	862,604	835,868
貸倒引当金	19,886	20,233
流動資産合計	18,185,078	18,694,090
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,738,940	3,739,821
その他(純額)	1,218,162	1,143,080
有形固定資産合計	4,957,102	4,882,902
無形固定資産		
その他	241,767	225,207
無形固定資産合計	241,767	225,207
投資その他の資産		
その他	1,103,388	1,144,222
貸倒引当金	48,213	50,408
投資その他の資産合計	1,055,175	1,093,813
固定資産合計	6,254,045	6,201,923
資産合計	24,439,123	24,896,014
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,431,555	3,416,156
未払法人税等	819,929	508,261
引当金	8,866	9,200
その他	1,354,903	1,372,234
流動負債合計	5,615,254	5,305,852
固定負債		
役員退職慰労引当金	6,000	2,000
環境対策引当金	93,983	93,983
退職給付に係る負債	1,068,463	1,060,475
資産除去債務	27,457	27,713
その他	220,961	234,713
固定負債合計	1,416,865	1,418,886
負債合計	7,032,120	6,724,738

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,635,988	3,635,988
資本剰余金	4,677,705	4,677,705
利益剰余金	8,951,902	9,602,592
自己株式	39,613	39,903
株主資本合計	17,225,982	17,876,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,338	17,409
為替換算調整勘定	151,452	248,744
退職給付に係る調整累計額	15,229	28,739
その他の包括利益累計額合計	181,020	294,893
純資産合計	17,407,002	18,171,276
負債純資産合計	24,439,123	24,896,014

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	13,489,270	12,254,468
売上原価	10,082,081	8,754,334
売上総利益	3,407,188	3,500,133
販売費及び一般管理費		
給料	912,376	1,009,129
退職給付費用	63,338	51,442
減価償却費	95,588	46,677
その他	1,010,667	1,019,080
販売費及び一般管理費合計	2,081,971	2,126,329
営業利益	1,325,217	1,373,803
営業外収益		
受取利息	13,861	13,750
補助金収入	-	17,856
その他	5,153	9,637
営業外収益合計	19,015	41,243
営業外費用		
支払利息	2,685	2,134
売上割引	8,305	6,905
固定資産廃棄損	3,037	14
固定資産圧縮損	-	9,559
手形流動化手数料	2,848	-
支払補償費	13,500	-
その他	2,072	4,781
営業外費用合計	32,449	23,395
経常利益	1,311,783	1,391,651
税金等調整前四半期純利益	1,311,783	1,391,651
法人税、住民税及び事業税	500,939	465,938
法人税等調整額	10,031	73,675
法人税等合計	490,907	539,613
少数株主損益調整前四半期純利益	820,875	852,038
少数株主利益	-	-
四半期純利益	820,875	852,038

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	820,875	852,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,310	3,070
為替換算調整勘定	48,839	97,292
退職給付に係る調整額	52,548	13,510
その他の包括利益合計	102,698	113,873
四半期包括利益	923,574	965,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923,574	965,912
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,311,783	1,391,651
減価償却費	194,348	156,365
受取利息及び受取配当金	15,435	15,849
支払利息	2,685	2,134
売上債権の増減額(は増加)	1,360,646	147,274
たな卸資産の増減額(は増加)	1,047,673	2,832
仕入債務の増減額(は減少)	203,966	4,243
その他	76,475	20,299
小計	1,307,898	1,373,804
利息及び配当金の受取額	15,435	15,849
利息の支払額	2,696	2,134
法人税等の支払額	102,728	774,489
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,217,909	613,029
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	204,472	75,687
無形固定資産の取得による支出	17,547	20,186
その他	4,234	16,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	217,786	112,824
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	153,244	-
配当金の支払額	164,747	201,348
その他	327	290
財務活動によるキャッシュ・フロー	318,319	201,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,221	16,104
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	685,025	314,671
現金及び現金同等物の期首残高	6,518,239	7,054,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,203,265	7,369,074

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日至平成26年9月30日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

次の従業員の金融機関借入金に対し、保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
従業員(住宅融資)	37,964千円	35,552千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金	22,346千円	406,840千円
関係会社短期貸付金 (キャッシュプールシステム預け金)	7,180,918千円	6,798,058千円
流動資産その他		164,175千円
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,203,265千円	7,369,074千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	164,747	9.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月25日 取締役会	普通株式	164,744	9.00	平成25年9月30日	平成25年11月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	201,348	11.00	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年10月27日 取締役会	普通株式	201,345	11.00	平成26年9月30日	平成26年11月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書計上額
	内装システム	構造システム	マテハンシステム	
売上高				
外部顧客への売上高	2,743,907	7,405,092	3,340,270	13,489,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	2,743,907	7,405,092	3,340,270	13,489,270
セグメント利益又は損失()	43,472	1,424,583	55,893	1,325,217

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書計上額
	内装システム	構造システム	マテハンシステム	
売上高				
外部顧客への売上高	2,435,539	6,047,757	3,771,171	12,254,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	2,435,539	6,047,757	3,771,171	12,254,468
セグメント利益	85,877	1,033,569	254,356	1,373,803

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	44円84銭	46円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	820,875	852,038
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	820,875	852,038
普通株式の期中平均株式数(株)	18,305,074	18,304,214

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

第43期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)中間配当については、平成26年10月27日開催の取締役会において、平成26年9月30日の最終の株主名簿に登録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	201,345千円
1株当たりの金額	11円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成26年11月27日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

日立機材株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中山 清美 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 葛 貫 誠 司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日立機材株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日立機材株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。